朝日新聞で学ぶ総合教材

今解き教室は こんな教材

IMATOKI KYOSHITSU

読解力が身につく
新聞記事をもとにした読解問題を解き、その号のテーマを深く考えます

豊富な写真
朝日新聞の報道写真をふんだんに掲載。「目で見て」理解できます

様々な解説も
各号のテーマに関連した人物を紹介。図解のページもあります

SDGs・コロナ 記事や図表で学ぶ

今解き教室

朝日新聞社は月刊教材「今解き教室」を発行しています。朝日新聞の記事や図表を読み解き、自分の意見を表現する力を身につけます。SDGs（持続可能な開発目標）とエネルギー、地球環境と生物多様性、新型コロナの問題と医療など、最新の時事問題をテーマに取り上げて学びます。現在、3月号から来年2月号までの年間購読の申し込みを受け付け中です。

全国のASA（朝日新聞販売所）や専用サイト「今解き教室e－shop」でお求めいただけます。年間購読が基本ですが、全国の紀伊国屋書店（一部店舗除く）で1冊単位で購入できます。購入者対象の作文添削コースは専用サイトから申し込めます（別料金）。

1冊あたりの税込み価格は小4～6年向けの「L1基礎」が1430円、小6～中学生向けの「L2発展」が1760円。作文添削コースは1回分1980円です。

社・理で解説、読解問題は国語 教科連携で効果 札幌日大中

「今解き教室」は家庭のほか、学校でも活用されています。札幌日本大学中学・高等学校（北海道北広島市）の沖田五十二（そじ）副校長に利用方法を聞きました。

◇

中学の1～3年生全員が「今解き教室」を利用しています。社会の課題を学び、自分で考え、発信する力をつけるのが狙いです。

毎月3時間、社会・理科・国語の時間で学びます。まずは社会と理科の先生が分担し、各号のテーマを解説。報道写真で学び、ディスカッションを交えながら理解を深めます。読解問題で表現力を伸ばすのは、国語の先生の担当です。3教科の先生の協力によって、時事という教科横断型の学びの効果を高めます。

中学では3年間かけて、SDGsをテーマに課題研究も行っています。「今解き教室」で学ぶことで、SDGsの17の目標と現実社会の課題が結びつきます。

「今解き教室」は、ニュースに触れる機会が少ない子どもたちでも非常に興味を持ちやすく、理解を深めやすい教材です。